

みんなが主役！
ごみ減量



町田市からのお知らせ

ごみ資源化施設建設

NEWS

Vol.38

発行日：2026年3月19日

発行：町田市環境資源部

問合せ：循環型施設整備課

住所：町田市森野2-2-22

電話：042-724-4384

広報紙「ごみ資源化施設建設NEWS」では、新たな「ごみの資源化施設」に関する情報を、みなさまにお届けします。

春が訪れる頃となりましたが、みなさまいかがお過ごしでしょうか？
今号では、ついに今年の4月から始まる容器包装プラスチックの全市回収に関連して、相原地区と上小山田地区に建設予定の資源化施設の役割をご説明します！

Q. 容器包装プラスチックってどんなもの？

A. 中身(商品)を取り出したり、使い切った後に不要となるプラスチック製の「容器(入れたもの・袋)」や「包装(包み)」のことをいいます。



このマークが目印！

Q. 集められた容器包装プラスチックはどうなるの？

A. 集められた容器包装プラスチックは選別・圧縮梱包されたのちにプラスチックのリサイクルを行う工場に出荷され、有効利用されます。

収集



各家庭から出されたピンクの収集袋を収集します。

選別・圧縮梱包



※出典：公益財団法人日本容器包装リサイクル協会HP

工場を手選別にて不適物を除去。
その後約1mほどの大きさのボール状に加工してリサイクル工場へ。

リサイクル



パレットや車止めなど、新たな製品へと生まれ変わります。
※ケミカルリサイクルなどに活用され、製品にならないものもあります。

資源化施設が担うのはこの作業！！

皆さんの正しいごみ分別が、資源の有効利用につながるの♪



相原・上小山田地区に建設予定の施設ができるまでは、各家庭から収集された容器包装プラスチックは市外の間処理業者へ運ぶため、多額の費用が掛かってしまいます。
安定した資源化実現のため、施設の早期稼働を目指します。

今号は前号に引き続き、2024年9月30日に完成した 町田市バイオエネルギーセンター 整備の 沿革を振り返ってまいります！



写真：町田市バイオエネルギーセンター
(愛称名：バイエネ君)

◎施設の建設工事が行われ、稼働を始めました！

管理棟・工場棟建設期間 (2018年度～2021年度)

杭工事・ごみピット掘削(2018年11月～2019年5月)

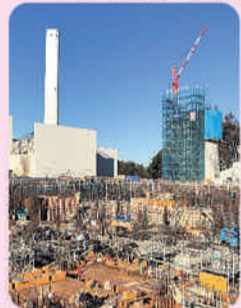
建物の建設は、建物を地下で支える杭工事から始まりました。建物の重さを安全に支えることができる十分な強度と硬さを持った地層まで届かせるために、長いものではおよそ40mにもなる杭を地中に打ち込みました。また、この頃に市民の皆様に向けた第一回目の現場見学会を実施し、ご参加いただいた方々には、打ち込む前の杭に思い思いの図柄などを書き込んでいただきました。ごみピットとは市内から集めてきたごみを一時的にためておく場所、この施設で一番地下深いところになります。このごみピットをつくるために地下30mちかくまで掘り下げています。



【写真：第一回現場見学会の様子】
思い思いの図柄を描き込んだ杭と
共に集合写真を撮影しました。

基礎工事(2019年5月～2019年12月)

ごみピットの底の部分をコンクリートで十分に固め、建物の基礎を作りはじめました。この頃に市民の皆様に向けた第二回目の現場見学会を実施し、ご参加いただいた方々には、地下30mまで掘削した地下で採取した砂を使って、サンドアート作品づくりにチャレンジしていただきました。また、お子様向けに重機の運転席に乗り込む体験も実施しました。



【写真：基礎工事の様子】
左手奥には旧清掃工場
が、右手奥には建て始め
た新しい煙突も見えます。

建方・プラント・内外装工事(2019年12月～2021年6月)

コンクリートでつくった基礎の上に鉄骨で建物を建てていきました。そのようにしてできてきた建物に対して、ごみ処理を行うための機器類(プラント機器)を予め決めていた場所に据え付ける工事も同時に行いました。また、必要なプラント機器の据え付けや照明・空調などの機器類の設置、その配線・配管が終わった場所から順次内外装の仕上げ工事を行いました。

受電・試運転調整・外構工事(2021年6月～2021年12月)

町田市バイオエネルギーセンターは特別高圧電力という一般の工場などより高い電圧(66,000ボルト)で受電していますが、特別高圧電力での受電を2021年6月から開始し、実際のごみを用いての試運転や調整作業を行いました。これと並行して、敷地内の建物以外の舗装や植栽などの工事(外構工事)を行いました。

稼働開始！(2022年1月)

旧清掃工場(町田リサイクル文化センター工場棟)の解体などの一部の工事は残っていましたが、新しいごみ処理施設として必要な機能が揃ったことから、ごみの受け入れや処理を全て新しい施設で行うようになりました。



◎旧清掃工場の解体が行われ、その跡地整備を行いました！

旧清掃工場解体・ストックヤード棟等整備期間(～2024年度)

旧清掃工場解体・跡地の整地(2022年1月～2024年4月)

旧清掃工場の工場棟の解体に着手しました。解体に際しては、東京都環境局の指示に従いながら、人体に悪影響を及ぼす可能性がある石綿やダイオキシン類の除去を先行して実施し、安全に解体できるようにしてから開始しました。旧建物の地中杭の引き抜きを行い、跡地を埋め戻して平らにしました。

ストックヤード棟等工事(2024年1月～2024年9月)

旧清掃工場の工場棟解体跡地にストックヤード棟・関係者駐車場・緑地を整備し、全ての工事を完了しました。

新しい施設が整備されて、
旧施設が解体されていく
様子がよくわかるのん！



充電式電池をごみ袋に入れて出さないで！

町田市バイオエネルギーセンターでは、リチウムイオン電池に代表される充電電池が原因と思われる**火災**が3回発生し、復旧や安全対策に約14億円の費用がかかっています。充電電池や充電電池を内蔵した電気機器はごみ袋に入れず、有害ごみとして出してください！

町田市公式ごみ分別アプリ



App Store
からダウンロード



Google Play
でダウンロード

リサイクル適性 **A**

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。